

小児科コース

指導責任者：伊藤 滋

◇ 研修目標

3年間の小児科後期研修によって小児科医として必要な専門的知識、技術を習得し、日本小児科学会専門医の資格を目指す。

◇ 小児科の概要

常勤5名（全員小児科専門医）

日本小児科学会連携研修施設

◇ 研修内容

1. 小児科チームの一員として指導医とともに主体的に小児医療に参加することで研修する。外来を担当し、外来主治医として長期的な患者のフォローやケアを経験する。
2. 病棟主治医として指導医とともに入院患者の治療を行う。
3. 乳児健診、予防接種外来を担当する。
4. 脳波、心エコーなどの研修。各種専門外来（循環器、アレルギー、神経、内分泌、腎臓）に参加。
5. 各種負荷試験、VCG、腎生検等小児科的検査処置に参加し研修する。
6. 未熟児を上級医とともに担当し、その治療にあたる。
7. 輪番などに宿当直として参加し、小児救急を研修する。
8. 病棟カンファレンス（毎日）、未熟児カンファレンス（毎日）、院内勉強会（週1回）
9. 月1回産婦人科医とのハイリスクカンファレンス。
10. その他学会発表、論文投稿なども積極的に行う。

※ 小児科学会は新専門医制度に準じた研修制度に平成29年度より移行しています。

このため、平成29年度以降に後期研修を開始する者は、当科が連携する岡山大学又は香川大学の小児科の研修プログラムに登録する必要があります。